

三重県中小企業団体中央会

業 種 名		前年同月比				業 種 名		前年同月比			
		売 上 受 注	取 引 条 件	収 益 状 況	業 界 の 景 況			売 上 受 注	取 引 条 件	収 益 状 況	業 界 の 景 況
食料品製造業	漬物	→	→	→	→	卸売業	肥料	↑	→	↓	↓
	醬油・味噌	↓	→	→	↓		◎卸団地(津)	→	→	→	→
	豆腐	→	→	↓	↓	小売業	◎商業(鳥羽)	↑	→	→	→
	日本酒	→	→	↓	↓		◎青果(松阪)	→	↓	↓	→
繊維製品製造業	◎組紐(伊賀)	→	→	↓	↓		自転車	↓	→	↓	↓
	衣料縫製	→	↓	↓	↓		家電	↑	↓	→	↑
	テントシート	↓	→	→	↓		石油	→	→	→	↓
木材・木製品		↑	↑	→	↑		スポーツ用品	→	→	→	→
紙・紙加工品	段ボール箱	↓	→	↓	↓	商店街	◎熊野市	→	→	→	→
	古紙	↓	→	↓	↓	サービス業	自動車整備	↓	→	↓	↓
印刷		→	→	→	→		◎宿泊施設(鳥羽)	→	→	→	→
窯業・土石製品	生コンクリート	↑	→	→	→		旅行業	↓	→	↓	→
	◎陶磁器Ⅰ(萬古焼)	↓	→	↓	↓		◎飲食業	→	→	↓	↓
	◎陶磁器Ⅱ(伊賀焼)	↑	→	→	→		警備業	→	→	→	→
金属・一般機器・電気機器・輸送機器	鍍金	→	→	→	→	建設業	総合工事業	↓	→	→	→
	◎機械器具(四日市)	→	→	→	→		内装工事業	↑	→	↑	↑
	◎機械器具(久居)	↑	→	→	→		電気工事業	→	→	→	→
	◎機械器具(伊勢)	→	→	→	→		◎水道工事業(津)	→	→	→	→
	◎電気機器(鳥羽)	↓	↓	↓	↓	運輸	トラック輸送	↑	→	→	↑
	◎輸送機器(鈴鹿)	↓	→	↓	↓	◎不動産(鈴鹿亀山)		→	→	→	→

↑…増加・上昇・好転 →…変わらず ↓…減少・下落・悪化 ◎…地域単位の組合

情報連絡一覧票

(三重県中小企業団体中央会・平成25年6月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	食料品	豆腐	大豆、燃料に加えて包装資材も値上がりしている。
	木材・木製品	木材	7月1日から受付を開始した「木材利用エコポイント」に期待する。
	紙・紙加工品	紙器段ボール箱	天候不順による飲料や食品のマイナス、自動車関連の輸出の減少等の理由により、全体的に出荷数量が大きくダウンした。
		古紙	6月期の仕入高は、対前年比で段ボール：約96%±3%、新聞・チラシ：約94%±3%、雑誌・雑紙・その他：約96%±3%であった。国内販売先の価格は値下げされたまま変化はない。関西や輸出価格の影響か、仕入れ価格が高くなり、少子高齢化・情報の電子化・産業構造や集荷方法の激変等で扱い量が減り、経営を圧迫している。さらに社会保障費が重くのしかかる。地方に届かない景況感と増税の上、やがてくる人件費の上昇と人手不足を予測してしまうと選挙も空しい。
	印刷	印刷	国政選挙が始まるが、特に組合員企業で仕事に繋がることはない。2014年2月名古屋で開催の印刷関連団体の全国大会に当組合青年部が昨年のサバイバルプリント（復刻展）を出展することになり、青年部は活気が出ると思う。
	窯業・土石製品	伊賀焼	今月はイベント行事もなかったが前年同月と比べたときやや売上状況も良く、伊賀焼伝統産業会館の売上状況も良かった。入館者も団体客が多かったため、前年の同期より良かった。伊賀・信楽古陶館の売上状況については前年同月と同じで、入館者数も変わらなかった。伊賀・信楽古陶館はこれから夏物の風物誌の展示販売を計画している。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は5月同様自動車関連部品は日々の増減はあるものの、横ばい状態である。その他のめっき等は5月同様扱う製品により明暗を分けている。半導体関連は6月に入り増産傾向に転じてきている。7月以降は本格的に生産量増との見通しとなっている。
	一般機器	四日市	景気の消費主導による回復気運の中で、各企業への投資意欲の具体化、アクションが中小企業者にとっては待ち望まれるところである。参院選を挟んで今後の経済動向が注目される。
		津（久居）	業種間により好・不況の継続にある。
		伊勢	90円台まで円安が進んだが、大手受注先の海外生産、材料、部品等の現地調達化の大きな流れはスピードに変化はあっても変わらない。日本の少子化や市場としての魅力が薄れば国内の空洞化は今後も進行していく。
非製造業	電気機器	鳥羽	6月に入っても状況は少しでも上方に動く気配もなく、デフレ脱却の掛け声もむなしく見積もり条件は今以上にコストダウンを強いられる状況である。
	輸送機器	鈴鹿	前月と同様、鈴鹿市内の大手自動車メーカーでは当初の稼働予定日を1日休日とし、後期への振り替えが実施された。上半期の国内生産台数も前年比マイナスであり、下半期での挽回を期待したいところだが、近頃は我々2次下請け以降には新規案件の引き合いも来ず、先行きは不透明である。
	小売業	青果	不安定な気候で入荷する野菜も毎日の量が大きく変化する。特に軟弱の野菜類は今までになく、上下が激しい。キャベツ・ほうれん草・胡瓜・トマト等変化が大きい。果物は入荷量が多く、高いが、みかん・ぶどう類・メロン・スイカ・桃など少しながら人気がある。
		自転車	（財）自転車産業振興協会より24年度の電動アシスト車の国内販売台数が発表された。当初予定をしていた40万台を下回り38万台後半の数量にとどまった。市場拡大が期待される電動アシスト車に新規参入する企業が現れ、価格も5万円台が登場したにもかかわらず、対前年対比94%と低迷した。一般車（スポーツ車を含む）と合わせ全体的に販売台数が伸び悩み、低調の中でも大手専門チェーン店が地方都市へ出店している。組合傘下の小規模店は一層厳しい状況である。

非製造業	小売業	家電	家電業界は景気上向き傾向は出てこないが、地域専門店は販促（個展・合展）を積極的に開催し、特に省エネ家電（エアコン・冷蔵庫）を始め太陽光発電システム・リフォーム関連商品の需要ＵＰを目指した活動に取り組み、前年実績を上回った地域専門店があった。しかしながら量販店においては、単品商品の需要が伸びず苦戦が続いている。
		石油	6月の燃料油販売数量は前年対比100%前後の状況であった。地域においては特に系列販売店とプライベートブランド（ＰＢ）の販売数量の内容が系列販売の方が幾分前年割れの数量減販を余儀なくされているが、5月度よりは販売数量が持ち直した状況で終わった。フルサービスの系列販売店では地域での燃料油販売店としての役割及び利益性に対して協力を頂いているが、なかなか周辺のセルフ店の販売価格の影響が大きく、運営に影響しているのが現状である。各地域の過疎地においては給油所廃業の為、大変な状況のところもあるが、できる限り地域の給油所を活用して欲しい。
		スポーツ用品	2020年のオリンピック招致が世界的に盛り上がっている。我々スポーツ業界としてはぜひ東京に決まって欲しいと思う。店の店頭にて誘致活動も行っており、それで少し元気が出てきたように思う。
	商店街	熊野	この時期になると、観光客の減少で消費は落ち込み傾向ではあるが、毎年開催されている野球やラグビー、自転車レース等のスポーツ集客事業が開催されているため、市内の宿泊施設や飲食業は例年通り活況であった。また商店街としては地域商店街活性化事業補助金が採択され、熊野大花火を活かした商店街作り事業が動き出した。8月から展開される事業に向け、スタートが切られた。
	サービス業	旅館（鳥羽）	6月はいつも閑散期と言われているが今年についてはまあまあ入りがあったようである。ご遷宮の影響でマスコミに取り上げられているためと考えられる。人員不足もよく聞く。
		飲食業	全国平均ひと月あたりの一般外食支出は12,187円（本年1月～3月期）であり、多くの関連データでは、アベノミクス効果により都市部を中心に経営環境の改善がみられているとの発表であるが、三重県では未だ実感覚はないのが現状である。今後、原材料の引上げや電気料金の値上げ等によるコスト増大にも対応しなければならぬ。なお、本格的な夏場のシーズンを控え食への衛生管理にも充分注意を払い、県民の外食への安心安全を提供しなければならない。
	建設業	内装工事業	前年同期に比べ売上が倍近く増加している。景気動向について上向きの傾向にあると思われるが、現状がこのまま継続し、我々建設業界も収益の面で好転を願う。
		水道工事業（津）	年度初めの4月～5月に業務量が減少していたが、6月に入り若干回復傾向にある。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
一般機器	四日市	自民党一党支配には強い懸念を持つ。他党ももう少し頑張ってバランスのある政治をして欲しい。中小企業政策がこの国の命運を決める。
	伊勢	日本における製造業のいわゆる「六重苦」の状況を一日も早く解消してほしい。特に望むのは法人税の減税である。
建設業	水道工事業（津）	選挙が近づき、ねじれを解消し、スピード感ある国政にして欲しい。
運輸業	トラック	燃料高騰対策を講じて欲しい。